

14. 腎がん

○: 専門とするがん △: グループ指定により対応しているがん ×: 診療を実施していないがん
 ※別紙4に入力した内容が反映されています。
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制
 ○: あり △: グループ指定により対応(地域がん診療病院のみ選択可) ×: なし ○

当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数	治療の実施状況 (○: 実施可 / ×: 実施不可) / 昨年の実績 (あり/なし) ※平成25年1月1日～12月31日								各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ					
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を 専門として いる医師数	手術			化学 療法	インター フェロン 療法		放射線療法 体外照射	ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	掲載されている内容			
				開腹 手術	腹腔鏡 下手術	腹腔鏡下 小切開手術						治療内容	治療実績	医師の 専門 分野	
1 泌尿器科	7	2	状況	○	○	○	○	○	○	治療は外科的手術が中心となります。ほとんどの手術を腹腔鏡手術で行っていますが、全身状態、腫瘍の状態によっては開腹術で対応することもあります。	ア	泌尿器科 http://www.oph.gr.jp/medical/treatment/hinyou/	掲載あり	掲載あり	掲載あり
			実績	あり	あり	なし	あり	あり	なし		イ	http://			
2 放射線治療科	2	2	状況						○	泌尿器科と連携し、主に緩和的(3次元)放射線治療を行っています。	ア	放射線治療科 http://www.oph.gr.jp/medical/treatment/housha-t/index.html	掲載あり	掲載あり	掲載あり
			実績						あり		イ	http://			
3			状況								ア	http://			
			実績							イ	http://				
4			状況								ア	http://			
			実績							イ	http://				
5			状況								ア	http://			
			実績							イ	http://				

グループ指定を受ける施設との連携状況
 ※グループ指定を受ける場合のみ記載すること

例: 腎細胞がん
 腎細胞がん、集合管がん
 昨年の治療実績ありの疾患名
 ※平成25年1月1日～12月31日